

2026年（令和8年）
10月1日 木曜日
第2023号

京都自動車新聞



京ト協 公明党と政策懇談 2
J A F 京都 千葉に隊員派遣し活動 6
A P I T カスタマイズフェス開催 7
大黒商会 フェアセミナーに注目 8
◀ 京整振 9年ぶり点検促進イベント 4

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内） 電話（075）672-0552 ファクス（075）682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp

（株）大黒商会（井上雅文社長）は9月11、12日の両日、京都パルスプラザ（伏見区）で、「オートビジネスフェア2026」を開催した。3年連続の京都開催となった今回、およそ450社から650人の自動車業界関係者が来場した。（関連記事8面）

130社を超える企業が出展し、最新の整備機器、工具、設備、さらにはフェア期間限定の特価品などを出品。各企業によるデモンストレーションにも注目が集まった。会場内では、昨今の整備業界が抱える課題を意識した製品やサービスが数多く見られた。工具、

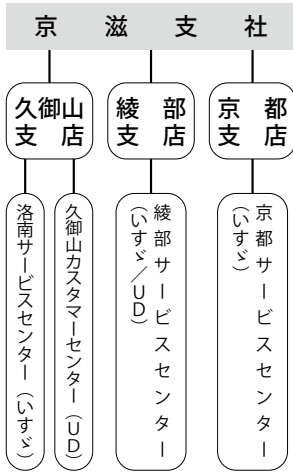


ツールカテゴリーでは、省力化、省人化がテーマに挙げられる。ヤマト自動車提案したのは、大

型車整備にも対応したハイパワータイプの電動インパクトレンチなど。作業効率を大幅に改善する専用ツールも多種多様な製品が出品され、生産性向上をもたらす商品力を訴えた。

一方、中東情勢の影響を受け、エンジンオイルなど油脂類にも注目が集まった。マッハブランドでエンジンオイルの製造と販売を手掛ける富士興産は、

450社から650人来場 大黒商会 オートビジネスフェア



いすゞ近畿組織図（京都のみ）

一連の協業・統合は「成長戦略そのもの」（いすゞ近畿の齊藤博社長）だといふ。カーゴ系に強いいすゞと、トラックヘッッド分野で58・2%（近畿）という圧倒的なシェアを持つUDだけに客層が異なり、うまく棲み分けできる構造だ。営業面では、カテゴリーによって専門的な販売技術を要するため、スタッフはもともと所属ブランドごとにチーム分けする。



「必要とする事業者は、迅速にお届けできる体制を整えている」とし、品質に優れた製品の安定供給能力を訴求した。

その上で「従業員によって、またエリアによって、自然と役割分担されていくはず」（同）との見立てだ。

一方、サービスは受け付け窓口こそ分けるものの、協業拠点で培ったノウハウを生かし、重整備を除く定期作業などは、顧客の了承のもとブランドの垣根を越えて各所へ分散させるなどし、ユーザーの利便性を高めていく方針。加えて、「全ての故障整備をカバーする意向も示す。

いすゞとUDの販売機能の統合をめぐっては、2年ほど前からメーカー間などで準備がすすめられ、1年前から販社の役員級での調整が行われてきた。とりわけ、安全分野のルール付けの統一化に関しては、時間を掛けて根付かせているという。齊藤社長は「企業文化の違いが全くないとは言えないが、かけ離れたものではなかった。いすゞはグループ内統合を繰り返してきたし、UDもいろいろな系譜があり、両社共たくましい。いすゞにせよ、『いすゞが』『UDが』といった話ではない。『お客さま起点の営業体制』を目指すだけだ」としている。

ディーラー新時代[®]

いすゞ近畿とUD近畿リージョン

カーゴとトラクタの強み融合

いすゞ自動車とUDトラックスが、2021年4月のグループ化以降、5年半の歳月を経て次なるステージへと足を踏み入れた。いすゞ自動車近畿とUDトラックス近畿リージョンは1日付で、全国に先駆け国内販売機能を統合。いすゞ近畿を存続会社としながらも、いすゞ・UDの2ブランド制を敷き、グループスケールでそれぞれの強みをこれまで以上に際立たせる。拠点や人員の合理化は行わない。

全国初の販売機能統合



いすゞ近畿の齊藤社長



2026年10月1日

ISUZU UD TRUCKS

より確かに、より豊かに。

いすゞ自動車近畿株式会社と
UDトラックス近畿エリアが統合しました。

いすゞ自動車近畿株式会社
<https://www.isuzu-kinki.com>

京都支店
京都市南区上鳥羽大満町2
電話075-681-6116
久御山支店
久世郡久御山町井東荒見18-1
電話0774-45-3300

京都サービスセンター
京都市南区上鳥羽大満町2
電話075-681-5161
洛南サービスセンター
久世郡久御山町佐山双栗16
電話0774-43-6011

綾部支店／綾部サービスセンター
綾部市味方町鳥ノ堂57-1
電話0773-42-2331
久御山カスタマーセンター
久世郡久御山町井東荒見18-1
電話0774-45-3323